

住む人,働く人,学ぶ人。

楽しみ,集える新しい高瀬川エリアへ。

TAKASE GAWA OPEN CULTURE FORUM 2020

— 高瀬川 オープン カルチャー フォーラム 2020 —

EASTERN AREA OF KYOTO STATION

京都駅東部エリア

2020.1.26 (日)

14:00-16:00 (開場 13:30)

参加無料 定員100名

開催場所 京都美術工芸大学 京都東山キャンパス 1F カフェテリア
〒605-0991 京都市東山区川端通七条上る
京阪電車「七条駅」徒歩約2分・市バス「七条京阪前」下車約3分

お問合せ・お申込み先 裏面をご覧ください



京都市印刷物 第314699号 (令和元年11月)
発行:京都市総合企画局プロジェクト推進室



TAKASEGAWA OPEN CULTURE FORUM 2020

— 高瀬川 オープン カルチャー フォーラム 2020 —

京都市立芸術大学等の移転が予定される京都駅東部エリアは、平成31年3月に策定した「京都駅東部エリア活性化将来構想」に掲げる「『文化芸術都市・京都』の新たなシンボルゾーンを創出し、人と人、人と地域がつながるまち」の実現に向けて、動き出しています。

このエリアを南北に流れ、悠久の歴史、豊かな潤いと多彩な地域資源を有する高瀬川の周辺では、この地で暮らしを長く営んできた方とこの地に新たに惹かれてきた方が、日々の地域活動や商い、文化芸術の創作をとおして交わるにより、人と人、人と地域のつながりに少しずつ変化が生まれてきています。

今回のフォーラムでは、令和5年度の京都市立芸術大学等の移転を見据え、この地に住む人、働く人、学ぶ人が、多様な立場で、楽しみ、集える高瀬川エリアの今と未来を考えます。

PROGRAM プログラム

14:00 基調講演

テーマ「共有空間の獲得」

小山田 徹氏 京都市立芸術大学 美術学部 教授

14:30 常磐津節の演奏

京都市立芸術大学 常磐津部のみなさんによる
浄瑠璃と三味線

14:45 研究発表

テーマ「菊浜学区の高瀬川を中心とした
地域活性化の取組について」

安藤 眞吾氏 京都美術工芸大学 工芸学部 教授

15:00 パネルディカッション

テーマ「今、そして未来へ。」

高瀬川カルチャーを発信する人たち」

エレナ・トゥタッチコワ氏 アーティスト

小久保 寧氏 walks(ウォークス)代表

小山田 徹氏 京都市立芸術大学 美術学部 教授

ファシリテーター:

桜井 肖典氏 一般社団法人RELEASE;(リリリース)共同代表/構想家

16:00 懇親会 (参加希望者のみ・おひとり様 500円(当日支払))

TAKASEGAWA OPEN CULTURE FORUM 2020

お申込み

京都いつでもコール

電話 075-661-3755 FAX 075-661-5855

受付時間:午前8時~午後9時(年中無休)

Mail ホームページの送信フォームをご利用ください。

京都いつでもコール

検索

※お電話・FAXはおかけ間違いにご注意ください。

参加料 無料 定員 100名(応募者多数の場合抽選)

応募期間 令和元年11月20日(水)~12月27日(金)

お申込み 参加者の氏名・ふりがな・郵便番号・住所・電話番号・
同伴者全員の氏名(2名まで)を明記の上、上記「京都
いつでもコール」までお電話かFAXまたはEメールで
お申し込みください。

※締め切り後、ハガキで参加者にご連絡します。

PROFILE プロフィール



安藤 眞吾氏

(京都美術工芸大学 工芸学部 教授)

京都市立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。
(公社)日本インテリアデザイナー協会西日本エリア担当理事。
大阪府デザイン産業功労賞、京都デザイン賞2010「商工会議所会頭賞」
など受賞多数。ミラノサローネやパリデザインウィークなどに、
日本の美意識をテーマにしたプロダクトを発表。



エレナ・トゥタッチコワ/Elena Tutatchikova氏

(アーティスト)

<http://www.elenatutatchikova.com>

1984年ロシア、モスクワ生まれ。自然と人間の関わりや文化的現象を通じ
た人間の記憶の形成、歩行と想像力の関係に関心を抱く。様々な地域での
フィールドワークを重ね、土地や個人の物語を採集し、写真、映像、音、文章、
ドローイング等で表現する。6月より京都にて「カモガワ・フィールドワー
ク・ラボラトリー」を立ち上げ、定期的にワークショップなどを開催する。



小久保 寧氏

(walks(ウォークス)代表)

2014年noun productionを設立。コンセプトから空間・映像・WEB・
デザインなど”新真点”で活動。2017年walksを設立。新潟・沖縄・京
都など拠点を移しながら地域密着型でホテルや商業空間などのエリ
ア開発を実施。現在は京都を拠点に、空間・エリアプロデューサーと
して社会的、地理的課題を持つエリアの開発を中心に活動中。



小山田 徹氏

(京都市立芸術大学 美術学部 教授)

1984年京都市立芸術大学日本画科在学中にパフォーマンスグル
ープ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプと並行して1990年からは、様々な
共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アーツスケープ」
「ウィークエンドカフェ」などの企画を行うほか、コミュニティカフェ
「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。



桜井 肖典氏

(一般社団法人RELEASE;(リリリース)共同代表/構想家)

2000年よりデザインコンサルティング会社を経営、様々な分野で
デザインプロジェクトの企画監修を重ねる。2012年より持続可能性
と事業性を両立する「未来が歓迎するビジネス」のデザイン組織と
してRELEASE;を始動。京都をはじめ各地の企業や自治体とともに、
領域横断的な事業構想と具現化を推進している。



京都市立芸術大学 常磐津部

約30名が活動中。京都寺町の人々が始めた常磐津節の習得と上演
を通じ、伝統文化に理解と親しみを深め、日々の芸術活動と学生生
活の糧としている。古典曲の新演出による「芸大kabuki」(芸大祭)
の音楽・舞台・衣装制作、ライブや試演会のほか、下京区の崇仁祭り
囃子とコラボレーションなど地域と大学の連携にも貢献。

お問合せ先 京都市総合企画局プロジェクト推進室 TEL.075-222-3176 FAX.075-213-0443